





石川県養鶏ブースにてお手伝い



温泉卵の大行列

### (3) 千坂公民館文化祭にて卵普及活動

10月23日には、千坂公民館の文化祭に出店した。

当日に向け7月までにゼミッキング有志グループでスイーツの試作を行い、「チョコメレンゲクッキー」をプロデュースした。地元のパン屋「穂乃華」様に製造をお願いし、「金沢星稜大学女子短期大学部手塚ゼミナール」が販売者となって商品化した。

参加した学生達は、地元の子どもたちを喜ばせるため「わなげ」ゲームを準備し、楽しみながら交流を深め、県産卵の魅力を知ってもらうことができた。



開店前の準備作業



卵とクッキーに地元の人々が大行列



ゼミ生考案の卵啓蒙ポスター



児童たちと輪投げで交流



千坂公民館文化祭看板

### (4) 県外高校運動部向け食育講座の実施

最後の活動として、1月26日に東京世田谷区にある東京農業大学第一高等学校運動部生徒向けに食育講座を実施した。石川県養鶏協会副会長中山氏と手塚ゼミ生2年生2名の計4名で出張授業とし、約100名の生徒に石川県卵の魅力と運動選手にとってプロテインの重要性を講演した。温泉卵の試食の他、能登地震により養鶏農家にも被害が及んだため、養鶏農家を応援するメッセージ付き「チョコメレンゲクッキー」を配布した。



食育講座に意欲的な生徒



温泉卵試食コーナー



試食風景



県産卵を生かしたチョコメレンゲクッキー



短大ゼミ生から卵レシピ紹介



石川県養鶏協会副会長に生徒から御礼

## 3. 活動の成果と今後の課題

1年間にわたり、県内外の高校生対象の食育講座や地域交流活動を通じて県産卵の普及活動を展開した。県内外高校生の事後アンケート結果では、県内よりも県外高校生の方が卵の意識に変化がみられた(図1)。今後は、県内外の食育講座を複数実施すると共に、県産卵の魅力をより理解するための学習教材の工夫が課題である。また、イベント実施に際し、卵の無償配布のみでは成果が見えづらい側面があるため、より効果的な配布方法が課題となる。今後も普及活動を展開したい。

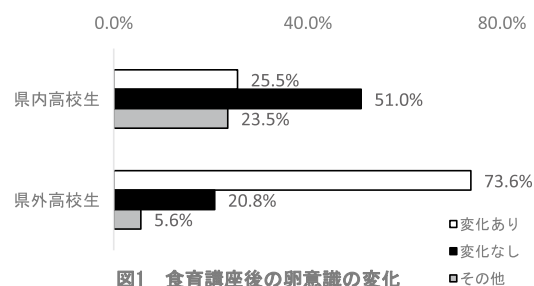


図1 食育講座後の卵意識の変化